

温室効果ガス削減目標

1. 国の温室効果ガス削減目標

国の地球温暖化対策計画における日本の温室効果ガス削減目標は、「2030年度において2013年度比 26.0%の水準」となっています。

これは、2013年度の部門別排出量に対して、各種の取組による削減効果を試算したもので、家庭部門及び業務部門でおよそ4割の大幅な削減をめざしています。

表1 国の地球温暖化対策計画の削減目標

	(百万t-CO ₂)		
	2013年度 (平成25年度)実績 (A)	2030年度 (令和12年度) 排出量の目安 (B)	2013年度 (平成25年度)比 (C) = (B)/(A)
エネルギー起源CO ₂	1,235	927	-25.0%
産業	429	401	-6.5%
家庭	201	122	-39.4%
業務	279	168	-39.7%
運輸	225	163	-27.4%
エネルギー転換	101	73	-27.5%
非エネルギー起源CO ₂	75.9	70.8	-6.7%
メタン	36.0	31.6	-12.3%
一酸化二窒素	22.5	21.1	-6.1%
代替フロン等4ガス	38.6	28.9	-25.1%
吸収源		-37.0	
計	1,408	1,042	-26.0%

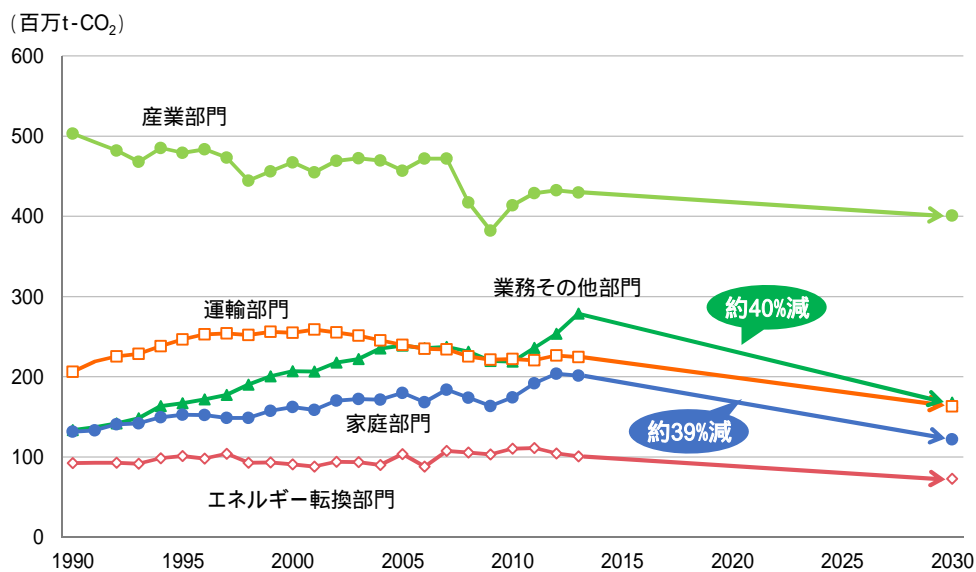


図1 国の削減目標における部門ごとの削減目安

2. 高槻市の2030年度排出量の試算結果

高槻市の2013年度(平成25年度)の温室効果ガス排出量の実績に、国の部門別削減率を乗じて2030年度(令和12年度)の排出量を試算すると114.2万t-CO₂となり、2013年度比 29.8%となります。

表2 高槻市の2030年度(令和12年度)排出量の試算結果

		(万t-CO ₂)		
		2013年度 (平成25年度) 実績(D)	2030年度(令和12年度) 排出量の目安 (E) = (C) × (D)	2013年度比
CO ₂	産業	35.64	33.32	-6.5%
	家庭	56.30	34.12	-39.4%
	業務	46.36	27.95	-39.7%
	運輸	19.19	13.93	-27.4%
	廃棄物	3.72	3.47	-6.7%
メタン		0.08	0.07	-12.3%
一酸化二窒素		1.37	1.28	-6.1%
計		162.67	114.16	-29.8%

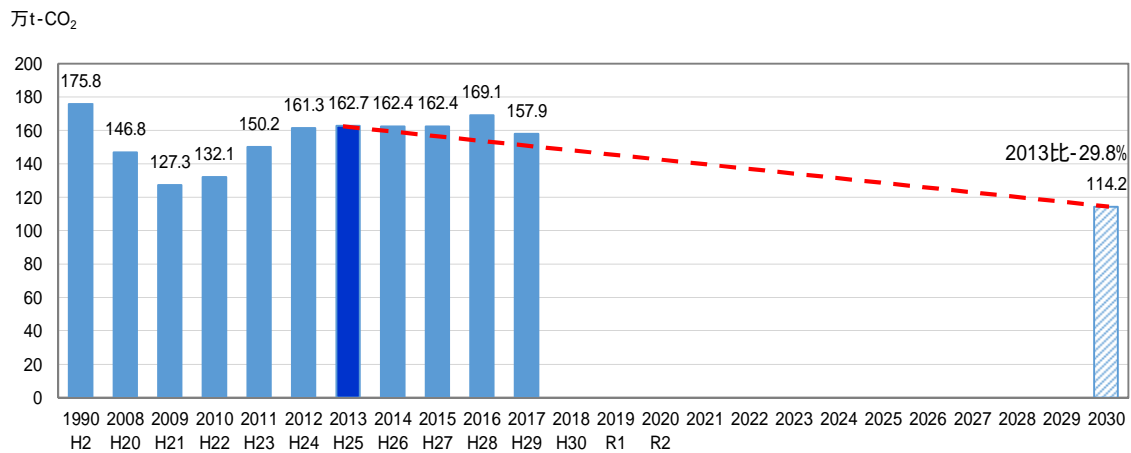


図2 高槻市の2030年度(令和12年度)排出量の試算結果

3. 本市の温室効果ガス削減目標

昨今の地球温暖化に関する社会状況や本市を取り巻く環境、これまでの市民・事業者・行政の取組状況等を踏まえ、国の目標より挑戦的な目標を設定することとし、本市の温室効果ガス削減目標を以下のとおりとします。

2030(令和12)年度の温室効果ガス排出量を、
2013(平成25)年度比で30%削減する。